

## 海とイルカ・クジラを大切に思う皆さまへ

観光船はまなすのシャチへの過干渉について  
事実関係の調査と聴き取り報告 および  
日本クジライルカウォッチング協議会（JWDC）の見解

今般、JWDCの登録事業者が多くの皆様にご心配やご迷惑をおかけしております。  
6月4日以降に各SNSなどで配信されました、知床羅臼におけるウォッチングで行われたシャチへのアニマルハラスメントと呼ぶべき行為は、「動物や海の保全に寄与する」を柱とする私たちJWDCの活動目的に、大きく反するものです。

それを踏まえ、当事者である「観光船はまなす」に聞き取りを行ったところ、件の出来事が起きたのはチャーターツアー対応時で、一般乗り合い便では遵守している自社およびJWDCのルールを逸脱した行為があったものの、チャーターゆえに注意喚起を怠り、結果として過干渉に協力していると捉えられかねない状況になったそうです。

「はまなす」は、続々と寄せられた厳しいご指摘やご批判の数々を重く受け止め、動物ハラスメントや安全軽視をしているとの誤解を招く行為があったこと、どのような状況でも船上での出来事は全て自分たちに責任があることを認め、反省の意を深く表しております。改めまして、ウォッチング事業者としての初心にかえり、動物と人との距離感を重視して運航していくと申していますので、仲間として今後の彼らを注意深く見守りたいと思っております。

一方で、対象動物との過度な接触動画に対して、肯定的な意見だけでなく、きちんと問題点を指摘している意見が多く集まったことに対して、心強く感じました。JWDCとしてはこれを機に、登録事業者に各社・各地域で定めたウォッチングに関するルールの再確認を促し、過剰な接近、長時間にわたる干渉（特に母子）など、動物の生活や安全を阻害する行動につきましては、厳正に自粛を求めて参ります。併せて、自主規制の必要性を乗客の皆さまに訴え、動物保護の大切さについて理解を深めていただくことにも取り組んでまいります。

JWDC一同、さらに気を引き締め、動物の尊厳と生きる権利を守りながら、人と鯨類をより良い形をつなぐ役割を果たすべく努めて参りたいと存じます。  
皆さまには、引き続き、ご理解、ご教示をいただければ幸いです。

2023年6月6日  
JWDC 理事一同

